

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 血清 Angiopoietin-1/-2 濃度の肺高血圧症バイオマーカーとしての有用性

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 近藤康博

[研究の背景] 肺高血圧症は様々な原因によって肺動脈圧が上昇する病気です。早期の診断・治療をすることによって、その後の病状経過や寿命を改善させられると考えられています。しかしながら、現在のところ早期診断に有効な血液検査（バイオマーカー）がありません。近年の研究にて、Angiopoietin（アンジオポエチン）という蛋白質が肺高血圧症の診断に使用できるのではないかと考えられています。

[研究の目的] 肺高血圧症患者の血液中のアンジオポエチン濃度と右心カテーテル検査結果などの検査所見や症状との関係を解析し、肺高血圧症の新たなバイオマーカーとしての有用性を検討することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2012年1月から2019年11月までに右心カテーテル検査で確定診断した肺高血圧症の患者さんで、その診断のときに血液の保存にご同意いただき、当院に血液を保存させていただいている方

●研究期間： この文書の公開から2022年11月30日まで

●利用する検体、カルテ情報

検体：血清（保管することに以前同意をいただいたもの）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、CT検査、右心カテーテル検査）、肺高血圧の治療方法、治療の手応え、当院への通院状況。

●検体や情報の管理

血清は、検体を測定する機関である浜松医科大学に配送で提出し、測定されます。情報は、研究代表者機関である浜松医科大学にインターネットを介して提出され、集計、解析が行われます。

[研究組織]

この研究は、浜松医科大学と当院の共同研究で行われます。研究で得られた情報は、浜松医科大学で利用されることがあります。

- ・研究代表者（研究の全体の責任者）：浜松医科大学内科学第2講座 須田隆文

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である須田隆文が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院の責任者

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 近藤康博

公立陶生病院の担当者

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 片岡健介

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139